

庁舎・福祉会館建設の基本設計委託等の予算 付帯決議を付け可決、約100億円の事業スタート

昨年、蛇の目跡地で建設を検討されてきた庁舎と福祉会館について、あくまで平成33年度竣工にこだわった西岡市長。しかし、これまでの質疑でもあまりにも準備不足が目立つため、議会からは不安の声が多く出されました。そして、事業推進を望む会派から付帯決議が提出され、14名の議員が賛成し可決されました。補正予算には18名が賛成、5名が反対しました。付帯決議の内容(要旨)は次のとおりです。

及び防災整備について根幹となる市の方針も含め、速やかな説明と合意形成を求める。

3 清掃関連施設の暫定移設に関連した最大の調整を求める

工事期間中において、建設敷地北側の中央線高架下を活用し、工事車両の通路として利用する見通しとなった旨が報告された。これにより一部移転することで足りる蓋然性も高く約1・6億円の清掃施設の建物リース料も減じられる可能性も明らかになった。今後、JRに対し、最大の調整をすることを求める。

4 財政計画について精査を求める

市が策定した財政計画は、**起債(借金)依存度が73%と他自治体に比較して突出して多く**なっている。今後、公共施設の統廃合や長寿命化など公共施設マネジメントを進めていくため、市民サービスの低下を招かないよう、財政見通しについて、精査することを求める。

5 市民に対する説明責任を果たすことを求める

例えば、中学校区ごとの**説明会の開催や市報特集号の発行**により、広く市民に知らせる

とともに、積極的に市民からの意見聴取を行うべきである。市民の意見を反映する方法、スケジュールを明確化の上、更に早い段階で、できるだけ多くの市民との合意形成を図ることを求める。

6 基本設計事業者選考委員会の委員構成を示すことを求める

選考委員会の委員構成は、他市と大きく異なり、行政関係者が過半数を超えている上に、学識経験者のうち、**建築の専門家は一名しか含まれていないもの**が提案されたが、質疑から学識経験者が2名追加された。最適な人選が行われるよう求める。

7 庁内体制の強化を求める

CM(コンストラクション・マネジメント)事業者の採用については、本事業を総括的に運営管理するものであるが、本事業により得られるであろう知識や経験は、庁内で蓄積することにより、今後の公共施設マネジメントの展開、施設の統廃合や学校長寿命化に生かすべきである。責任ある事業管理を行っていただくよう強く求める。

1 契約等発注方式の合理的な再検討と説明を求める

竣工時期を重視する実施設計と建築工事を一体発注するDB(デザインビルド)方式を選択するとの最初の説明から、市の意向が具体的に反映され、**透明性の高い従来方式も含め**、市民の利益を第一義として再検討をすることが示されたが、従来方式の採用を改めて求めるものである。

2 早急に、複合施設に係る基本方針の説明と合意形成を求める

市長は複合施設に係るコンセプトは必要であり、既に検討、着手し、基本設計応札業者に対して示すと答弁したが、**ほとんどの事項が未検討である**ことが判明した。ICT整備

<http://igarashi-kyoko.com>

五十嵐京子(検索)



小金井で元気に！ 小金井を元気に！

小金井市議会議員

五十嵐京子

通信
第49号

2018年7月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920